

高等学校の校名変更について

高 校 教 育 課

1. 校名の変更理由

高等学校改革プラン実施計画に基づく、高等学校の統合による新たな高等学校の設置及び総合学科への転換並びに魅力ある高等学校づくりに伴い、校名の変更を行う。

2. 新校名について

(1) 高等学校の統合に伴う新たな高等学校の設置

: 新校名

飯山照丘高等学校
飯山南高等学校

} 統合

いいやま
飯山高等学校

(新校名の「飯山」は飯山北高等学校との統合後も使用)

中野高等学校
中野実業高等学校

} 統合(総合学科に転換)

なかのりっしかん
中野立志館高等学校

木曽高等学校
木曽山林高等学校

} 統合

きそせいほう
木曽青峰高等学校

(2) 総合学科への転換に伴う校名の変更

丸子実業高等学校

まるこしゅうがくかん
丸子修学館高等学校

(3) 魅力ある高等学校づくりに伴う校名の変更

東部高等学校

とうみせいしょう
東御清翔高等学校

3. 今後のスケジュール

- ・平成 18 年 12 月議会定例会において高等学校設置条例を改正
- ・平成 19 年 4 月 1 日施行

新校名の選定理由等

(高等学校設置条例の別表の順による)

飯山高等学校

飯山照丘高等学校と飯山南高等学校（飯山北高等学校）の統合校

飯山照丘高校・飯山南高校・飯山北高校の3校の統合校の校名として分かりやすく、地域に根ざした高校名としてふさわしく、親しみやすいことから命名した。

中野立志館高等学校

中野高等学校と中野実業高等学校の統合校

中野市（旧豊田村）出身の国文学者、高野辰之作詞の「故郷」の一節にある「ころざしをはたして いつの日にか帰らん」のように、集う若人が「志を立て」夢を持ち自らの道を切り開いていく学び舎となることを願って命名した。

なお、「志を立てる」は、キャリア教育に重点を置く新たな総合学科高校の特徴や、地域からの期待を示唆したものでもある。

丸子修学館高等学校

丸子実業高等学校を総合学科に転換して校名を変更

本校の伝統・歴史を引き継ぐとともに、高い志をもって、学を修め、新しい時代（自らの未来）を築いていく場でありたいという願いを込めて命名した。

東御清翔高等学校

東部高等学校の校名を変更

かつて小県東部4か村によって設立され、東御市唯一の高校であることと、「大空翔ける荒鷲」のように、「若者達が、志を持って、清々しく飛翔して欲しい」という願いを込めて命名した。

木曽青峰高等学校

木曽高等学校と木曽山林高等学校の統合校

「青峰」という言葉は、豊かな森を育む山々とそこから湧きいずる清流、そして青い空に囲まれた豊かな木曽の自然をイメージさせる。同時に、恵まれた自然環境の中で、すすくと伸びゆく感性豊かな若々しい高校生の姿にも重なるものがある。

木曽の豊かな自然の中で、若々しい高校生が勉学にまたスポーツにのびのびと打ち込み、未来に向かって成長していく場であってほしい、という願いを込めて命名した。